



前橋市のごみ処理の現状と 資源循環への取組



- 01 前橋市の取組
- 02 ごみ処理の現状
- 03 ごみの減量・資源化等の取組
- 04 災害対応等の取組



前橋市 環境部 ごみ政策課
課長 大山 幸成

2025.02.19

01 前橋市の取組



「道の駅まえばし赤城」～自然の恵みを感じる道の駅～

- 所在地：前橋市田口町
(上武国道沿い。関越自動車道渋川伊香保ICから車で10分)
- オープン：令和5年3月21日
- 「前橋の新たな玄関口」として、施設内にはフードコート・農産物直売所・鮮魚センター・温浴施設・屋外広場等を完備
- 利用者数：年間440万人（当初年間100万人見込み）

01 前橋市の取組



BABAKKAWA
STREET



「馬場川通り」～アーバンデザイン・プロジェクト～

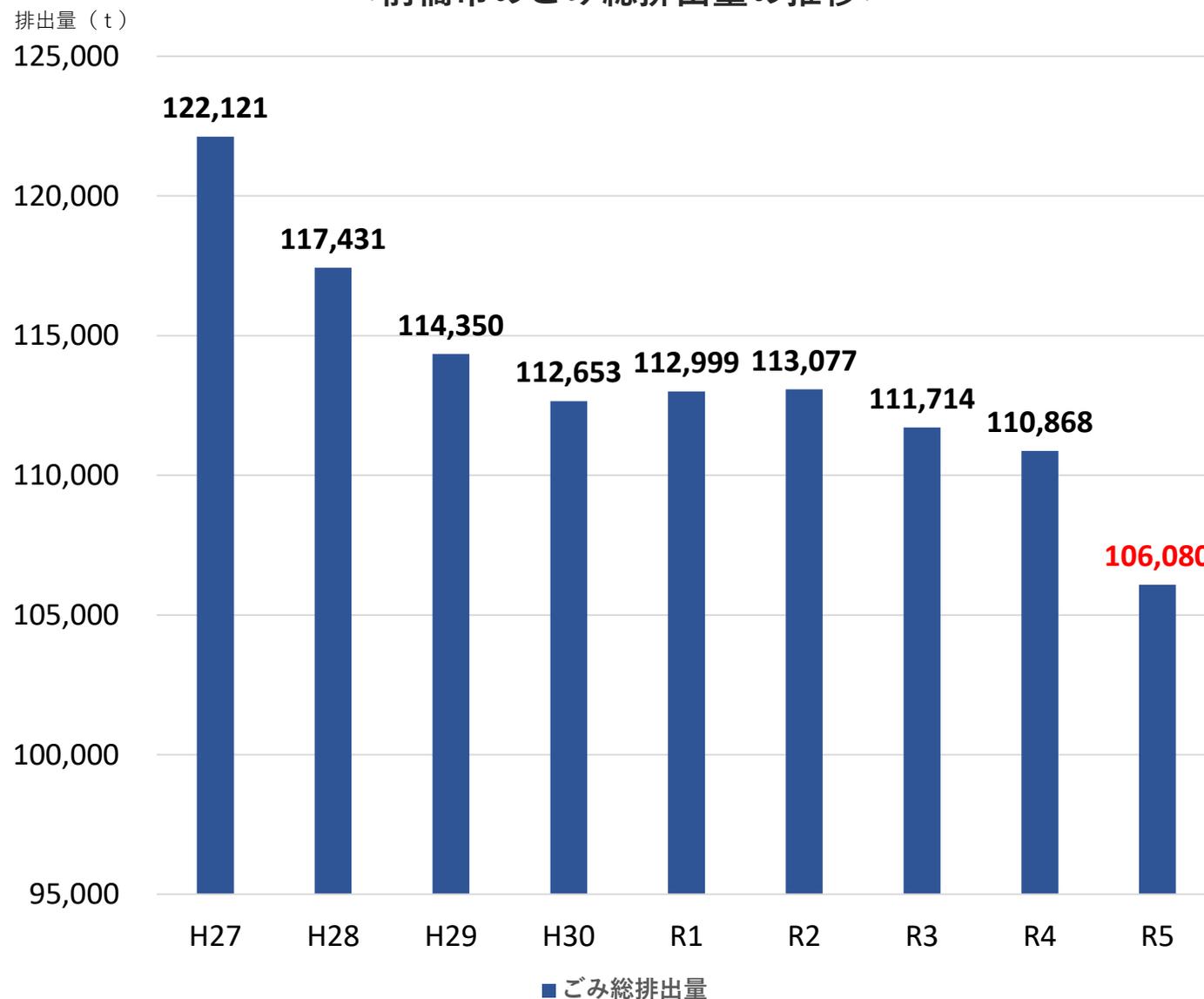
- 水路・遊歩道・道路を民間資金により民間主体で整備
- 成果連動型民間委託方式採用（全国初）
- 国土交通大臣賞受賞

- レンガ敷、車道と歩道をフラットに、
- 海外著名デザイナー設計のトイレ
- 近隣にはパーラーモモヤ（レストラン）、つじ半（海鮮丼）、グラッサ（パスタ）などの行列店も

02 前橋市のごみ処理の現状



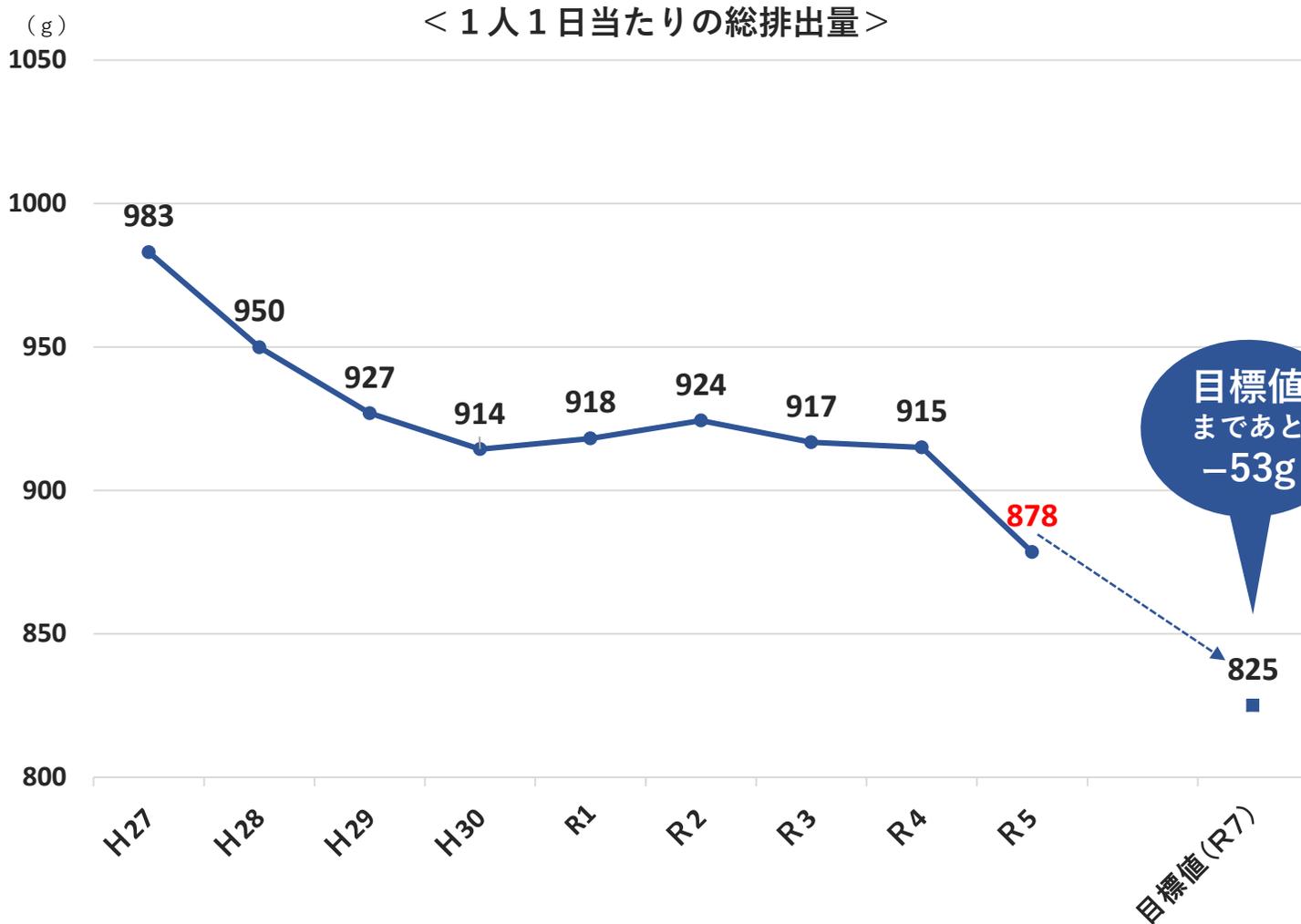
＜前橋市のごみ総排出量の推移＞



■ 総排出量

ごみ総排出量は、令和4年度に引き続き減少し、令和5年度は106,080トンとなり、対前年度比で4.3%、平成27年度に比べ13.1%減少しました。

02 前橋市のごみ処理の現状



総排出量 = 可燃ごみ + 不燃ごみ + 粗大ごみ + 資源ごみ + 事業系ごみ

■ 1人1日当たりの総排出量

令和5年度は878グラムとなり、
対前年度で37グラム、
平成27年度からは105グラム減少しました。

【県の公表資料】

1人1日当たり排出量の状況

群馬県：966g（47都道府県で40位）

前橋市：915g（県内12市で1位）

全国平均：880g

※令和6年5月公表（令和4年度実績値）

02 前橋市のごみ処理の現状



群馬県と前橋市の容器包装プラスチックの資源化量

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
群馬県・資源化量 (t)	3,652	3,795	4,014	4,004	3,815	3,914	4,116	3,981
前橋市・資源化量 (t)	1,501	1,520	1,609	1,649	1,708	1,774	1,795	1,799
前橋市の資源化量/ 群馬県の資源化量 (%)	41.1	40.1	40.1	41.2	44.8	45.3	43.6	45.2

前橋市の資源化量/群馬県の資源化量 = **45.2%** (令和4年度)

(参考) 群馬県と前橋市の人口

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
群馬県の人口 (人)	2,006,957	2,000,130	1,992,267	1,983,386	1,971,651	1,960,215	1,947,506	1,934,299
前橋市の人口 (人)	339,440	338,705	338,001	337,543	336,284	335,157	333,843	331,972
前橋市の人口/ 群馬県の人口 (%)	16.9	16.9	17.0	17.0	17.1	17.1	17.1	17.2

前橋市の人口/群馬県の人口 = **17.2%** (令和4年度)

03 ごみの減量・資源化等の取組

セブン-イレブンによるペットボトルを再びペットボトルにリサイクルする取組 (ボトルt o ボトル)

- 回収機設置開始日：令和6年6月26日
- 回収機設置店舗：前橋市内79店舗
- 回収実績：約100万本（令和6年12月末時点）
＜約25トン＞



■ ペットボトル回収機設置セレモニーの様子



マイボトル利用促進の取組

■マイボトルの利用対応店舗一覧

店舗・事業者名	内容
①無印良品	店内の給水機で無料で給水可。
②カインズ (カフェブリッコ)	マイボトル利用で30円割引
③珈琲問屋	マイボトル利用での購入可(割引なし)
④タリーズコーヒー	マイボトル利用で30円割引
⑤ブルーボトルコー ヒー	マイボトル利用で20円割引
⑥ロブソンコーヒー	マイボトル利用で10円割引
⑦前橋市役所地下売店	マイボトル利用で20円割引

市内コーヒーショップ等協力による
マイボトル持参時の料金割引

■マイボトルの利用促進ポスター



「もってこマイボトル」と題して
広報・HP・アプリを活用した啓発

おからバイオマス原料を配合した前橋市指定ごみ袋を作製



おからバイオマス原料を配合することで、プラスチック削減

(1) 取組概要

【市内企業による資源循環の推進】

➢おからを有効活用しようと、相模屋食料(株)がプラスチック原料として独自開発（トーフレジン）

➢市内企業の相模屋食料(株)、井上ビニール(株)と協同で作製

【外国人へのごみ分別の周知・啓発】

➢8言語に対応（日本語・英語・中国語・ポルトガル語・韓国語・ベトナム語・ネパール語・インドネシア語）

➢イラストを活用し、分別案内を分かりやすく

(2) 今後の活用方法

➢現時点では販売予定なし。外国人への分別啓発用に作製

➢イベントや日本語学校で開催される分別説明会などでごみの分け方・出し方が分からない外国人へ配布

03 ごみの減量・資源化等の取組

容器包装プラスチック分別啓発モデル事業

実施概要

- ① 実施地区 宮城地区の一部（約1,100世帯）
- ② 地区選定理由 ・前橋市内の他地区と比較して容器プラの回収量の割合が少ない
- ③ 実施期間 令和6年9月6日（金）から令和6年10月25日（金）まで（約2か月間）
- ④ 実施方法 a. 「容器包装プラスチック専用ごみ袋（新たに作製）」 ※1世帯6枚（無償）を全戸配布。
b. 「分別方法等を記載したチラシ」

④ 実施方法



a. 容器包装プラスチックの分別専用ごみ袋



b. 分別方法等を記載したチラシ

事業結果

■実施地区のプラ容器回収量

	9月	10月	合計	11月（参考）
令和5年（kg）	980	860	1,840	970
令和6年（kg）	1,190	1,050	2,240	(※) 1,350
回収量増減（kg）	210	190	400	380
対前年比（%）	21.4	22.1	21.7	39.1%

※R6.11は回収日が4日（他の月の回収日は3日）

アンケート抜粋（分別専用ごみ袋について）

- ・お試し袋が配布されて、分別する意識が芽生えました
- ・お試し袋があれば、今まで分別していなかった方も分けて出す可能性はあるが、**現在の袋でもだせるので意欲の問題**
- ・わざわざゴミ袋を分けなくて良いのではないかと思う（市指定のゴミ袋ならどれでも使えた方が良い）

生ごみ減量について

■ 段ボールコンポストの利用促進

段ボールコンポストは、段ボールの中に土壌改良材（母材）を入れて、微生物の力で生ごみを分解する環境にやさしい取り組み



【母材の配布】

- 希望する市民に配布
- 配布場所：ごみ政策課窓口

【母材となる竹炭・竹チップの提供】

- 国土緑化株式会社（R4年7月連携協定締結）
- 企業のCSRとして定期的に無償提供

【イベントによる普及啓発】

- 環境アドバイザー前橋会と連携
- コンポスト活用方法を案内
- 母材も無償配布

03 ごみの減量・資源化等の取組

■ ごみ減量化器具購入費助成

家庭で発生する生ごみの減量とリサイクルを推進するため、ごみ減量化器具の購入費の一部を助成。



電動式生ごみ処理機

補助限度額：10,000円
(購入費の1/2に相当する額)



生ごみ処理容器

補助限度額：3,000円
(購入費の1/2に相当する額)

助成実績 (令和6年度)

➤ 予算額：1,000,000円

(※令和6年度の受付については、令和6年10月に予算に達したため終了)

【助成件数及び助成金額】

➤ 電動式生ごみ処理機：93件 (919,700円)

➤ 生ごみ処理容器：29件 (80,300円)

合計：122件 (1,000,000円)

04 災害対応等の取組

災害廃棄物仮置場設置・運営訓練の実施（県内初）

訓練概要	
① 訓練目的	災害廃棄物を迅速かつ適切に処理するため、職員の対応力向上や関係団体との連携強化を目的に「災害廃棄物仮置場設置・運営訓練」を実施
② 日程	令和6年11月11日（月）午後
③ 訓練会場	前橋市ばら園第三駐車場 (前橋市敷島町252-3)
④ 主催／訓練担当	(主催) 群馬県・(訓練担当) 前橋市
⑤ 訓練参加団体	群馬県、前橋市、群馬県環境資源創生協会、前橋市再生資源事業協同組合、前橋市一般廃棄物処理事業協同組合、前橋市ごみステーション回収事業連絡協議会 等 環境省関東地方環境事務所



訓練内容について

- 【訓練想定】 台風の影響で市内河川の一部が破堤し、一部の住家で床下・床上浸水の被害が発生
- 【訓練手順】 ①開会 → ②敷鉄板の設置訓練 → ③仮置場設営訓練 → ④災害廃棄物搬入訓練 → ⑤災害廃棄物搬出訓練 → ⑥講評、閉会

【訓練の様子】

②敷鉄板の設置訓練



③仮置場設営訓練



④災害廃棄物搬入訓練



⑤災害廃棄物搬出訓練



04 災害対応等の取組

小型充電式電池（リチウムイオン電池等）への対応について

1 火災の発生

小型充電式電池やその使用製品は、不燃ごみに混入して排出されることが多く、清掃工場やごみ収集車で発生する火災の大きな要因となっています。

小型充電式電池使用製品（例）



電気シェーバー



電動歯ブラシ



電子タバコ



スマートフォン



モバイルバッテリー



2 本市での小型充電式電池の廃棄方法

【店頭回収の活用（推奨）】

▶ 小型充電式電池は、使用している製品から取り外し、お近くの「家電量販店等」の店頭回収を優先的に活用するよう推奨



「電池を取り外し」



「リサイクル協力店へ」



【回収ボックス】

【店頭回収や取り外しが難しい場合】

▶ 店頭回収や取り外しが難しい場合は、「一辺が30cm以内のもの」であれば「資源ごみの日」（黄色コンテナ）に出すこともできます。



「一辺が30cm以内のもの」

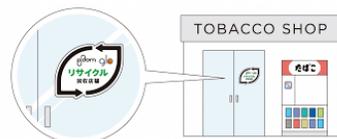


「資源ごみの日」
（黄色コンテナ）

3 その他

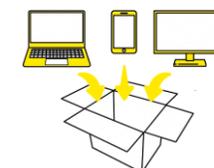
【電子タバコの店頭回収】

▶ （一社）日本たばこ協会が電子タバコ（glo製品とPloom製品に限る）の店頭回収によるリサイクルの取組を行っています。
（※前橋、高崎、伊勢崎区域内では、前橋市役所地下売店のみ）



【リネットジャパン】

▶ 小型家電リサイクル法認定事業者のリネットジャパンリサイクル(株)と連携し、パソコン・小型家電を「便利」に「かんたん」に回収できる宅配便リサイクルの活用を推奨しています。



ご清聴ありがとうございました



前橋市ごみ減量マスコット「ラジラス」
「地球を愛する (LOVE THE EARTH)」という
思いが込められた愛称です